

第6期

運用報告書(全体版)

インフラ関連日本株式ファンド (愛称 インフラレボリューション)

【2024年4月24日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「インフラ関連日本株式ファンド(愛称 インフラレボリューション)」は、2024年4月24日に第6期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

※岡三アセットマネジメント株式会社は2023年7月1日をもってSBI岡三アセットマネジメント株式会社へ商号を変更いたしました。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	2018年4月27日から2028年4月24日までです。
運用方針	日本および海外におけるインフラ事業の拡大により利益成長が見込まれる日本の企業の株式へ投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年4月24日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			東証株価指数 (TOPIX)		東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金 分配	期末 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
2期(2020年4月24日)	円 7,121	円 0	% △16.5	ポイント 1,421.29	% △11.8	ポイント -	% -	% 91.7	% -	百万円 4,656
3期(2021年4月26日)	10,946	160	56.0	1,918.15	35.0	-	-	92.1	-	5,008
4期(2022年4月25日)	10,528	50	△3.4	1,876.52	△2.2	-	-	92.9	-	3,811
5期(2023年4月24日)	11,092	210	7.4	2,037.34	8.6	-	-	82.3	-	3,282
6期(2024年4月24日)	14,064	270	29.2	-	-	4,600.94	-	97.4	-	3,419

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 東証株価指数(TOPIX)および東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

(注) 2023年12月29日に東証株価指数(TOPIX)から東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に参考指数を変更いたしました。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

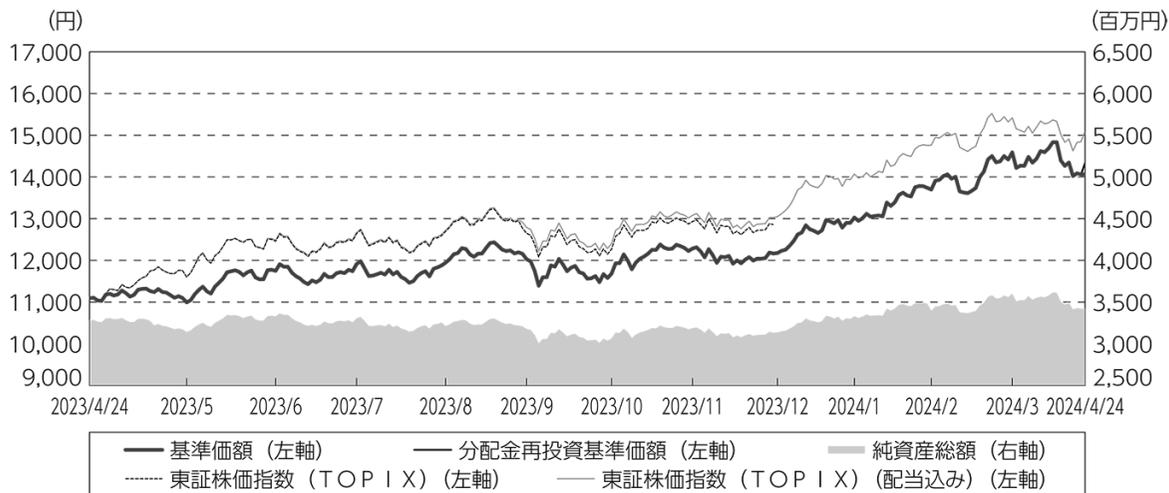
年月日	基準価額		東証株価指数 (TOPIX)		東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
(期首)	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%
2023年4月24日	11,092	-	2,037.34	-	-	-	82.3	-
4月末	11,177	0.8	2,057.48	1.0	-	-	82.5	-
5月末	10,993	△0.9	2,130.63	4.6	-	-	89.4	-
6月末	11,749	5.9	2,288.60	12.3	-	-	92.6	-
7月末	11,914	7.4	2,322.56	14.0	-	-	92.8	-
8月末	11,946	7.7	2,332.00	14.5	-	-	93.2	-
9月末	12,027	8.4	2,323.39	14.0	-	-	93.0	-
10月末	11,682	5.3	2,253.72	10.6	-	-	90.8	-
11月末	12,284	10.7	2,374.93	16.6	-	-	92.1	-
12月末	12,176	9.8	-	-	3,977.63	-	90.1	-
2024年1月末	13,027	17.4	-	-	4,288.36	-	95.4	-
2月末	13,697	23.5	-	-	4,499.61	-	98.4	-
3月末	14,589	31.5	-	-	4,699.20	-	97.9	-
(期末)								
2024年4月24日	14,334	29.2	-	-	4,600.94	-	97.4	-

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2023年4月25日～2024年4月24日）



期首：11,092円

期末：14,064円（既払分配金（税引前）：270円）

騰落率：29.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、東証株価指数（TOPIX）および東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2023年4月24日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 2023年12月29日に東証株価指数（TOPIX）から東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に参考指数を変更いたしました。そのため、東証株価指数（TOPIX）の推移は2023年12月28日までを記載、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の推移は見やすさの観点から期首（2023年4月24日）より記載しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・業種配分では、電気機器、銀行業、電気・ガス業などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、三菱UFJフィナンシャル・グループ、東京エレクトロン、日本電気などが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では、サービス業、繊維製品、金属製品などが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、アドバンテスト、フューチャー、ディスコなどが基準価額にマイナスに影響しました。

投資環境

（2023年4月25日～2024年4月24日）

国内株式市場は、概ね上昇基調で推移しました。為替の円安進行や経済活動の正常化を背景に、日本企業の業績が堅調に推移したことや、東証の要請を受けて資本効率改善に向けた取り組みを積極化する企業が多く見られたことなどが、日本株への積極的な資金流入を後押ししました。期末にかけては、米国のインフレ長期化懸念により、米連邦準備制度理事会（FRB）による金利引き下げ期待の後退や中東情勢の緊迫化により、調整局面を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（2023年4月25日～2024年4月24日）

当ファンドの運用につきましては、インフラ関連企業に着目し、業績動向、財務状況、成長力、バリュエーション等を勘案して銘柄選定を行いました。個別銘柄では、日銀による金融政策の正常化により収益性の改善が期待される三菱UFJフィナンシャル・グループや、生成AI（人工知能）の登場により将来的な成長期待が更に高まった東京エレクトロンなどを買い付けた一方、旅客運輸収入の回復により当面の業績回復期待を株価が織り込んだと判断した東海旅客鉄道や京阪ホールディングスなどを売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年4月25日～2024年4月24日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は、2023年12月28日までは東証株価指数（TOPIX）でしたが、2023年12月29日以降は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に変更いたしました。このため、当期中に参考指数が変更となったことからファンドとの比較ができないため、「基準価額と参考指数の対比（騰落率）」の掲載は行っておりません。

分配金

（2023年4月25日～2024年4月24日）

毎年4月24日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配につきましては、1万口当たり270円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかつた留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第6期
	2023年4月25日～ 2024年4月24日
当期分配金	270
（対基準価額比率）	1.884%
当期の収益	268
当期の収益以外	1
翌期繰越分配対象額	5,174

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

調整を挟みながらも上昇基調が継続すると予想しています。高値への警戒感や、米国や日本の金融政策の不透明感から多少の調整は想定されますが、日本企業の業績が堅調に推移していることや、東証の要請を受けて資本効率改善に向けた取り組みに着手する企業が増えていることなどが株価の下支えになり、上昇基調は続くと思定しています。

当ファンドでは、日本および海外におけるインフラ事業の拡大により利益成長が見込まれる日本の企業の株式へ投資を行います。

今後の運用につきましては、収益性や資本効率の改善余地が大きいと判断した割安なインフラ関連株と、中長期的な利益成長が期待される産業の中でも特に高い成長が実現する確度が高いと考えている半導体に関連した企業の株式を中心としたポートフォリオでの運用を行う方針です。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

○ 1万口当たりの費用明細

（2023年4月25日～2024年4月24日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬	194	1.584	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	（94）	（0.770）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（94）	（0.770）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（5）	（0.044）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	31	0.253	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株 式）	（31）	（0.253）	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	（0）	（0.000）	
(c) その他費用	1	0.012	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（1）	（0.011）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（0）	（0.001）	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	226	1.849	
期中の平均基準価額は、12,271円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

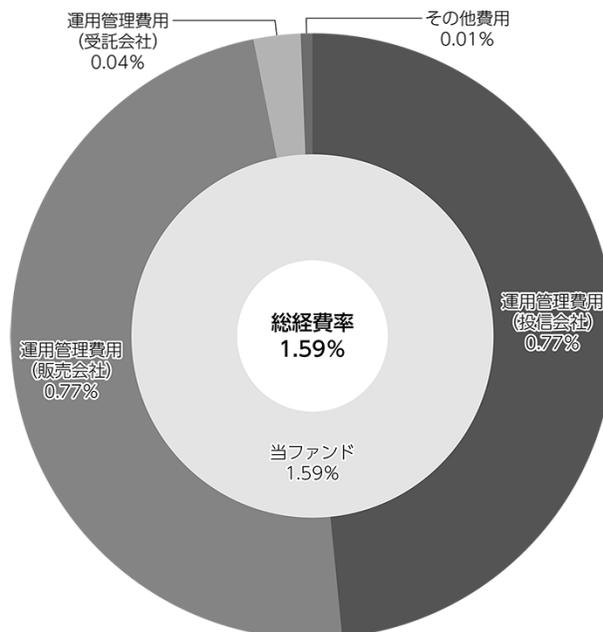
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.59%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年4月25日～2024年4月24日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		2,424 (530)	4,845,033 (-)	2,552	5,054,379

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国 内	株式先物取引	百万円	百万円	百万円	百万円
		-	-	174	183

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2023年4月25日～2024年4月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	9,899,412千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,018,991千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.27

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2023年4月25日～2024年4月24日）

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 4,845	百万円 241	% 5.0	百万円 5,054	百万円 521	% 10.3

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	8,307千円
うち利害関係人への支払額 (B)	503千円
(B) / (A)	6.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

（2024年4月24日現在）

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
鉱業 (2.0%)			
INPEX	—	28	68,180
建設業 (2.0%)			
ショーボンドホールディングス	10	—	—
大林組	—	38	66,386
大和ハウス工業	29	—	—
繊維製品 (—%)			
帝人	40	—	—
パルプ・紙 (1.7%)			
王子ホールディングス	174	90	57,636
化学 (11.1%)			
クラレ	—	35	59,902
三菱瓦斯化学	—	28.1	77,148
三井化学	19	12	52,800
artiencie	—	19	55,385
富士フィルムホールディングス	—	18	61,326
デクセリアルズ	—	11.1	63,725
ゴム製品 (2.0%)			
TOYO TIRE	—	23.2	67,024
住友ゴム工業	60	—	—
ガラス・土石製品 (4.8%)			
AGC	9.9	—	—
日本電気硝子	19	—	—
太平洋セメント	55	28.5	99,009
MARUWA	—	1.8	61,560
鉄鋼 (—%)			
日本製鉄	22	—	—
非鉄金属 (7.0%)			
住友金属鉱山	—	12	62,076
古河機械金属	—	23	43,631
UACJ	16	—	—
古河電気工業	17	—	—
住友電気工業	—	24.6	59,556
フジクラ	—	25	67,250

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
金属製品 (—%)			
LIXIL	25	—	—
機械 (4.3%)			
ディスコ	—	1.4	67,802
ダイキン工業	3	—	—
グローリー	23	—	—
三菱重工業	—	56.2	76,319
電気機器 (21.5%)			
日立製作所	—	7.1	97,341
明電舎	—	20	70,300
KOKUSAI ELECTRIC	—	13	53,690
日本電気	—	9.5	104,690
ルネサスエレクトロニクス	—	23	57,994
TDK	—	9	66,213
アドバンテスト	—	9	48,915
日本マイクロニクス	—	7.1	49,061
エンプラス	—	4.1	34,153
東京エレクトロン	—	3.8	132,278
輸送用機器 (6.1%)			
デンソー	—	30.2	85,798
トヨタ自動車	—	32.5	117,585
精密機器 (—%)			
ニプロ	102	—	—
電気・ガス業 (2.8%)			
関西電力	60	19	44,935
東北電力	128	—	—
北海道電力	—	42	48,531
電源開発	29	—	—
大阪瓦斯	51	—	—
陸運業 (1.5%)			
東海旅客鉄道	7.4	—	—
京阪ホールディングス	42	—	—
ヤマトホールディングス	29	—	—
センコーグループホールディングス	80	43	49,708

インフラ関連日本株式ファンド（愛称 インフラレボリューション）

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
情報・通信業 (7.4%)			
インターネットイニシアティブ	32	—	—
Appier Group	24	—	—
フューチャー	65.4	—	—
ネットワンシステムズ	—	28.5	75,496
日本電信電話	26	679.5	116,194
KDDI	17	—	—
光通信	—	2.2	55,352
卸売業 (6.4%)			
双日	20	—	—
三井物産	—	9	67,905
三菱商事	—	27.5	97,872
西華産業	—	12	49,140
小売業 (—%)			
セブン&アイ・ホールディングス	15	—	—
銀行業 (6.8%)			
三菱UFJフィナンシャル・グループ	—	91.6	143,812

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
りそなホールディングス	—	82.8	82,203
保険業 (3.4%)			
東京海上ホールディングス	24	22.9	112,759
その他金融業 (3.2%)			
オリックス	—	32.4	105,073
不動産業 (3.2%)			
三井不動産	—	30	47,115
住友不動産	—	10.7	58,657
サービス業 (2.8%)			
ジャパンマテリアル	—	16	36,160
リクルートホールディングス	—	8.5	55,624
日本郵政	111	—	—
東京都競馬	13	—	—
合 計	株数・金額 1,397	1,800	3,331,276
	銘柄数<比率>	34	47 <97.4%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年4月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	3,331,276	94.8
コール・ローン等、その他	183,250	5.2
投資信託財産総額	3,514,526	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年4月24日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	3,514,526,108
コール・ローン等	150,304,507
株式(評価額)	3,331,276,390
未収配当金	32,945,000
未収利息	211
(B) 負債	95,236,666
未払収益分配金	65,642,921
未払解約金	3,237,260
未払信託報酬	26,174,776
その他未払費用	181,709
(C) 純資産総額(A-B)	3,419,289,442
元本	2,431,219,324
次期繰越損益金	988,070,118
(D) 受益権総口数	2,431,219,324口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,064円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,4064円です。
(注) 当ファンドの期首元本額は2,959,302,923円、期中追加設定元本額は46,830,570円、期中一部解約元本額は574,914,169円です。

○損益の状況（2023年4月25日～2024年4月24日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	69,577,538
受取配当金	69,646,146
受取利息	2,894
その他収益金	238
支払利息	△ 71,740
(B) 有価証券売買損益	775,906,440
売買益	1,026,103,216
売買損	△ 250,196,776
(C) 先物取引等取引損益	△ 8,317,068
取引損	△ 8,317,068
(D) 信託報酬等	△ 52,173,292
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	784,993,618
(F) 前期繰越損益金	439,726,013
(G) 追加信託差損益金	△ 171,006,592
(配当等相当額)	(98,972,873)
(売買損益相当額)	(△ 269,979,465)
(H) 計(E+F+G)	1,053,713,039
(I) 収益分配金	△ 65,642,921
次期繰越損益金(H+I)	988,070,118
追加信託差損益金	△ 171,006,592
(配当等相当額)	(98,972,873)
(売買損益相当額)	(△ 269,979,465)
分配準備積立金	1,159,076,710

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 収益分配金

決算期	第6期
(a) 配当等収益(費用控除後)	65,241,937円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	719,751,681円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	98,972,873円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	439,726,013円
分配対象収益(a+b+c+d)	1,323,692,504円
分配対象収益(1万口当たり)	5,444円
分配金額	65,642,921円
分配金額(1万口当たり)	270円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税引前）	270円
支払開始日	2024年5月1日（水）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

〈お知らせ〉

S B I 岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2023年7月1日）

〈当ファンドの参考指数について〉

TOPIX（以下、「東証株価指数（TOPIX）」といいます。）・配当込みTOPIX（以下、「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」といいます。）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数（TOPIX）・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。